

2月 定例会

平成30年度那覇市一般会 計予算や条例等を可決

平成30年2月定例会は、2月13日から3月19日まで
の35日間の会期で開催され、平成30年度一般会計歳入
歳出予算1475億7100万円や平成29年度一般会
計補正予算、条例など67件が議決、同意されました。



定例会初日に巨人軍那覇キャンプのスタートをジャイアンツかりゆしウェアで歓迎 (2月13日)

会議の概要

◆2月13日(開会) 提案理由聴取

読売巨人軍のキャンプが沖縄セルラースタジアム那覇において、2月1日から行われており、巨人軍を歓迎し、那覇キャンプ成功の願いを込めて、議員及び職員が、那覇キャンプ記念オリジナルかりゆしウェアを着用していることの報告が議長からありました。

◆2月22日 追加議案の提案

一般質問2日目の後に、「訴えの提起について」を含む追加議案9件の提案があり、それぞれの所管部長から提案理由の説明が行われました。

◆2月27日 人事案件の同意及び「訴えの提起について」の採決

議案に対する質疑・委員会付託・報告に対する質疑の前に「監査委員の選任について」「教育委員会教育長の任命について」及び「教育委員会教育委員の任命について」の3件の人事案件については、採決の結果、全会

一致でそれぞれ同意されました。

「訴えの提起について」は、議案に賛成及び反対の討論を行い、採決の結果、賛成少数により、否決されました。

その後、条例及び予算案等63件の議案に対する質疑の後、それぞれ所管の常任委員会へ付託されました。

続いて8件の報告がありました。そのうち、それに対する質疑はありませんでした。

次に、那覇市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行い、指名推選による選挙の結果、それぞれ4人ずつが当選人となりました。

◆3月7日 補正予算議案等の委員長報告・質疑・討論・採決

条例案1件及び平成29年度一般会計補正予算(第6号)その他同年度特別会計等7件の合計8件の補正予算案について、総務常任委員長及び予算決算常任委員長の報告を求め、採決の結果、原案のとおりそれぞれ可決されました。

◆3月19日(最終日) 当初予算議案に対する修正案の提案及び討論・採決

総務常任委員会関係議案6件、建設常任委員会関係議案4件、教育福祉常任委員会関係

議案26件、厚生経済常任委員会関係議案6件及び予算決算常任委員会関係議案11件の各常任委員会の審査報告がそれぞれ常任委員長よりあり、採決の結果、原案のとおり可決及び同意されました。

続いて、平成30年度一般会計予算が議題となり、自民党及びなはの翼f協働の議員4人から新文化芸術発信拠点施設整備事業(新市民会館関連予算等)関係予算の約20億円を「市民の理解が十分に得られている」と言いがたい」として、歳入歳出予算から削減する修正案が提出されました。原案に賛成し、修正案に反対の立場から質疑及び討論があり、また、原案に反対し、修正案に賛成の立場から討論がありました。

採決の結果、修正案は賛成少数により、否決

され、原案は賛成多数により、可決されました。

陳情事件1件「軽度知的障がい、発達障がいのある人の支援体制の充実を求めることについて」は、全会一致により採択されました。

また、総務・建設・教育福祉・厚生経済の4常任委員長から委員会において審査中の事件につき、閉会中継続審査の申し出があり、採決の結果、閉会中の継続審査に付することに決定しました。今定例会までに新たに受理した陳情については、所管の常任委員会に付託されました。

最後に渡慶次克彦教育長及び新城和範代表監査委員から退任のあいさつがあり、議長からこれまでの市政発展のための尽力に謝意の言葉がありました。

那覇市議会の 本会議を傍聴しませんか

市議会は、2月、6月、9月、12月の定例会や臨時会で、市民の皆様の生活に関わりの深い議案などを審議しています。

傍聴席は市役所4階にあり、どなたでも傍聴できますので、ぜひ傍聴にいらしてください。また学校の社会科学習の場としてもご利用下さい。



2階席から傍聴する泊小中学校6年生 (2月26日)

代表質問



各会派の代表が
市政をたどす
質問と答弁の概要を
掲載しています。

名護市長選挙及び車いすマラソン大会等について

ニライ

下地敏男



1 名護市長選挙の選挙結果は、真摯に受け止める。しかし、新基地建設を認めただけではない。美しい辺野古の海をみずから提供する見解を伺う。

2 県内外の身体障がい者が集い、大会を通して絆と理解を深め、身体障がい者スポーツの振興を図る車いすマラソン大会を本市で開催する意義について見解を伺う。

3 那覇市頑張るまちグローブ支援基金条例の条例改正案が今定例会に提案されており、全市域の商店街を対象とする改正になっている。その効果について伺う。

□市長・関係部長

1 今回の名護市長選



第28回ぎのわん車いすマラソン大会
(写真提供: 宜野湾市社会福祉協議会)

2 障がい者が生き生きと活躍でき、共に支え合う共生社会の実現に寄与することから、今後、検討していくべき施策であると認識している。

3 商店街の関係者等への聞き取り調査を通して課題を把握し、地域特性を活かした商店街のあり方や支援策を検討し、支援の強化に取り組んでいきたい。

1 子どもたちの食に関する正しい知識と望ましい食習慣にとつて、学校給食は大切な学習の場である。

平成28年度一年間で異物混入事例は発生しているか伺う。特に那覇市においては1日約3万食、年間で約500万食の給食を提供している中での取り



永山盛太郎

学校給食及び生き生き人材育成支援施設整備事業について

ニライ

1 平成28年度の異物混入発生件数は49件あり、最も多い事例は虫の混入で野菜等に付着していた小さな虫が3回の洗浄でも落とされずに混入してしまった事例である。また、異物混入件数のうち、県教育庁へ報告すべき健康被害の生じる恐れのある異物の混入

1 給付型奨学金事業について伺う。

例えば7割は学力レベルの厳しい選考基準、残りの3割については学力レベルを少し下げ



上原 快佐

子ども行政について

ニライ

課外活動を評価するよう柔軟な対応は可能かどうか見解を伺う。

2 那覇市子ども子育て支援事業計画の中間見直し後、待機児童解消への道筋がつかないか伺う。その中でも適正配置や保育士確保策の具体案について伺う。

□市長・関係部長

1 入学金及び授業料に相当する額の全額を給付する事業である。奨学生の選考においては高校1年生からの成績評価を行い、他の

は9件あったが、いずれも健康被害はなかった。毎年、夏季休業中に学校給食関係職員を対象とした衛生研修を実施しており、異物混入の防止に努めている。

2 地域の公共施設として地域住民の集いの場とすることや、子育てや福祉などの地域課題の解決についての活用も図っていききたいと考えている。



学校給食調理場の様子

1 骨髄ドナーについて、患者と適合者のミスマッチ解消のための助成制度導入を伺う。

2 ドナーの勤務先への普及啓発活動を伺う。

3 新文化芸術発信拠点施設の計画を変更した際の問題点、文化投資額を赤字とする表現が正しいのか伺う。



清水 磨男

県内初、ドナー登録への助成制度導入

ニライ

□関係部長

1 ドナーの経済的負担を軽減するため、骨髄提供時点で住民登録がある方で休業補償等がないドナーに支援事業を開始する。県内では本市が初めてとなる。骨髄提供に係る面接、通院、又は入院に対し、1日当たり2万円、5日間分を限度として助成する。

2 ドナーの勤務先の事業所又は事業者の理解を得ることが重要であると考慮しており、勤務先への骨髄バンクドナー登録のパンフレット「チャンス」を配布し、理解を深める周知等の取り組みも検討していきたい。

3 変更

となった場合、設計までの作業をやり直すこととなり、6年の作業や事業費が無駄になることに加え、完成が約8年後になる。

さらに事業費に係る一括交付金を返還する可能性があり、また交付金の穴埋めに多額の一般財源を投入する必要がある。文化芸術に係る費用は、平成27年度に閣議決定された文化芸術振興方針に鑑み、赤字ではなく文化芸術を通じた未来への投資と考えている。

(請願・陳情の書式例)

年月日

那覇市議会議長 様

請願(陳情)者
住所
電話番号
氏名
紹介議員

件名 ○○○○について(請願/陳情)

請願(陳情)の趣旨

請願(陳情)の理由

【お問い合わせ】
議会事務局議事管理課 TEL 862-8153



文化・芸術・教育・福祉関係者、市民と県民の切実な願いに応えた新市民会館の早期完成を

日本共産党 古堅茂治



1 文化芸術は人々に生きる力を与え、心豊かなくらしに欠かすことができないものである。文化芸術を継承し、創造し、享受することは、全ての市民の権利である。文化・芸術・教育・福祉関係者、市民と県民の切実な願いに応えた新市民会館の早期完成に向けての城間市長の決意を伺う。

推進に邁進していく。

2 公約の着手率は95%。市政運営の1丁目1番地に位置づけられた児童館は、認可保育所等の数が平成26年度の70園から今年度は119園に拡充している。児童クラブの数も、平成26年度の62クラブから今年度は81クラブに拡充し、待機児童解消に向け大きく前進した。

さらに、子どもの貧困対策として、平成30年度から本市独自の給付型奨学金を創設する。また、平成27年度には「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言(レインボーなは宣言)、平成28年度には、那覇市パートナーシップ登録制度を開始するなど、両制度を実施する全国初の自治体として、LGBTを含む性的マイノリティーに対する理解促進を図った。

組んでいる。今年、市長としての1期4年間の最終年、集大成の年。子ども政策や経済振興政策を中心に、引き続き情熱と覚悟を持って全力で取り組む。

3 平成29年は寄港が224回で10年前の約7倍。乗客数は48万4千人で10年前の約13倍。今年度の寄港予定は292回。

4 那覇港は経済活動や県民生活を支える重要な役割を担い、沖縄21世紀ビジョン基本計画や沖縄県アジア経済戦略構想においても、今後の沖縄県の経済成長や振興に寄与する重要な港湾としての整備が求められている。浦添市が提案する南側案は、那覇港管理組合構成団体会議で、民港の発展に支障があるとの考えが示されている。



寄港したクルーズ船

子ども政策・教育介護の充実を

日本共産党 湧川朝渉



1 子ども医療無料化
2 待機児童の解消
3 放課後児童クラブの充実
4 新規給付型奨学金
5 新規入学準備金
6 学校トイレ洋式化
7 介護の整備計画

1 自治会への市職員
2 市長の認識する市
3 財政調整基金23億
5千万円取り崩しによる
中期財政計画への懸念と
基金の展望

平成30年度施政方針について

自民党 新垣淑豊



1 就学前児童の医療費窓口無料化を実現し、
2 保育定員目標を1万2千33人に増やす。
3 受入児童数目標値を4515人に増やす。
4 那覇市給付型奨学金の対象は、保護・準要保護、非課税世帯に属する成績優秀な者。
5 市民税非課税世帯等を対象に、小学校入学前12月末までに4万6千円の準備金を支給する。
6 平成30年度に3校、以後各年度6校程度整備予定。2025年度

1 自治会への市職員
2 市長の認識する市
3 財政調整基金23億
5千万円取り崩しによる
中期財政計画への懸念と
基金の展望

1 平日、休日、時間帯により那覇市内の市民、県民、観光客の人数は異なるが、那覇市地域防災計画は、状況の変化に対してどのような対策をしているか。
2 「新文化芸術発信拠点施設も公がしかできない津波避難ビルとなり得る施設と考えている」との事だが、何人の市民を避難させることができるか。
3 那覇市に救急隊は10隊必要などところが6隊しかないが、何年かけて増やすか。

1 那覇市地域防災計画では平成8年度から平成9年度にかけて実
円、一般財源24億円とした。今後も一括交付金は厳しく予断を許さない。
6 地域の皆様と意見交換を重ねていくことが重要と考えている。

1 平成21年度の市職員アンケートで回答率約2割、その内の約4割が自治会に加入との回答結果であった。現状把握のため改めてアンケートを検討する。
2 人手不足の課題は大きく、中小企業や経済団体との連携を図り施策支援を進める。
3 市税徴収の強化や



自治会長会の様子



平成28年4月に開園したペリー保育園

1 新文化芸術発信拠点の意義と事業費変更
2 自衛隊那覇基地と那覇軍港への市長見解
3 中心市街地の市民との合意形成のあり方
4 市長・関係部長

1 新文化芸術発信拠点施設も公がしかできない津波避難ビルとなり得る施設と考えている」との事だが、何人の市民を避難させることができるか。
2 「新文化芸術発信拠点施設も公がしかできない津波避難ビルとなり得る施設と考えている」との事だが、何人の市民を避難させることができるか。
3 那覇市に救急隊は10隊必要などところが6隊しかないが、何年かけて増やすか。



(上) 早朝、(下) 日中の国際通り

なぜ城間市長は陸上競技場をなくしたいのか

自民党

奥間 亮



3 中心商店街連合会の皆様から新市民会館の建設場所を見直してくださいとの陳情が出ています。中心商店街連合会との合意形成なくして中心市街地の活性化は可能だと思いませんか。

関係部長

1 全ての都道府県庁所在地に陸上競技場があるが、那覇市だけが唯一、陸上競技場をなくそうとしている。陸上競技場を残すべきという市民の声が非常に多くあるにも関わらず、なぜ城間市長は陸上競技場をなくしたいのか
2 陸上競技場をなくした場合のデメリットや影響について。



奥武山公園 陸上競技場の現況

新年度予算ほか市政の課題について

公明党

糸数 昌洋



3 防災行政について、防災危機管理課新設の目的を問う。
4 小学校入学準備金支給事業について、昨年2月議会で提案した事業実施の経緯について問う。

市長・関係部長

1 新年度予算について、予算編成にあたり留意した点や新規事業の採択基準と主な事業を問う。
2 文化行政について、新市民会館建設は行政の文化力が問われている。文化振興基本計画と併せて文化振興条例を制定すべきと提案してきたが見解を問う。

市立病院の建て替えや学校トイレ洋式化等の取り組みを問う

公明党

桑江 豊



1 那覇市立病院建て替えについて以下伺う。
① 現在地建て替えの具体的スケジュール。

② 総事業費250億円
1 基本計画及び基本設計を策定後、2019年度をめぐり実施設計を策定、旧看護宿舎を解体し、来院者用立体駐車場を建設する。2020年度は

本館の一部を解体。解体後の敷地と現在の駐車場部分に病院本館工事を行う。本館は、新病院本体完成後に移転する。2024年度に新病院を開院する。移転後に本館も解体する予定。
② 本市と市立病院の起債償還等の負担割合は、2分の1が基準とされていることを踏まえ調整している。

仲井真小学校の3校、平成31年度以降は各年度約6校程度の整備に取り組み。2025年度にトイレ洋式化が完了できるように調整する。小学校遊具改修事業では、平成30年度に、神原小学校2基、松川小学校1基、城南小学校1基、真嘉比小学校1基、安謝小学校1基、銘苅小学校2基の修繕撤去及び新設を行う。
3 平成31年度保育定員目標値を1万2033人へ上方修正した。真地小、仲井真小学校校区、高良小、小緑南小学校校区で1、2園



建て替え計画を進める「那覇市立病院」

トイレの洋式化などの事業を予算計上した。
2 議員提案の文化に関する条例の制定については、平成30年度における基礎調査を踏まえながら他都市の事例を参考に調査研究したい。

3 自然災害の多発、大規模化や国際情勢が緊迫化する状況の中で、本市の危機管理体制の機能強化を図ることを目的に、総務課市民防災室を防災危機管理課へ組織編成した。人員も2人増員し、課長以下9人態勢で市民の安全安心の確保に取り組みでいく。
4 小学校での入学前支給を望む声が多いた



め、就学援助制度での詳細な審査基準を適用しない、別制度の小学校入学準備金支給事業として、31年度入学児童より支給する。
第5次那覇市総合計画冊子の表紙



教育格差を解消する制度の導入、空手道振興を

なはの翼f協働

上里 直司



1 子どもの教育格差を解消するために、低所得世帯の子どもの学習塾に通うためのス

タデイクーポン(仮称)のような制度など、支援が必要と考える。
2 空手道振興のため、本市においても空手推進課(仮称)の設置が必要ではないか。
関係部長
1 他市における制度の導入状況の調査のほか、庁内会議等において情報を共有するなどの対応をしていきたい。
2 県で策定予定の空手道振興ビジョン(仮



空手稽古の様子

称)等の中で示される市町村の役割を踏まえ、調査・研究していきたい。

那覇市議会の活動をホームページで公開しています
アクセス方法
「那覇市議会」で検索してください。
<http://www.gikai.city.naha.okinawa.jp/>
または、那覇市ホームページの【那覇市議会】からもアクセスできます。

市立病院の建て替え推進、返済不要の給付型奨学金対象枠の充実を

なはの翼f協働
坂井浩二



1 那覇市立病院の建て替え事業について

2 返済不要の給付型奨学金事業の対象規定は10人以内と限定するのではなく、10人1程度」とする等、対象者を1人でも多く確保すべきではないか。

□関係部長

1 市立病院は現在地での建て替えに着手する。2019年度を目処に実施設計を策定し、2024年度に新病院の開院を予定している。

2 給付型奨学金事業の対象要件緩和については、様々な事情が出てくる中で、市民の意見を伺いながら検討していきたい。



那覇市立病院の院内の様子

那覇市人材データバンク事業について

なはの翼f協働

上原仙子



那覇市社会福祉協議会が運営する、ボランティア・市民活動センターとの違いについて伺う。

□関係部長

那覇市社会福祉協議会が運営するボランティアセンターは、主に福祉分野に関するボランティア募集を行っている。

また、本市の人材データバンクは、福祉分野も含め、他の分野も網羅した人材情報を集約する。那覇市社会福祉協議会とは、これまで連携の実績もあるため、今後も情報交換を行いながら、さらに連携を図っていきたい。

新市民会館及び学校給食、保育園について

維新・無所属の会
新崎進也



1 新市民会館建設後の年間3億9000万円の赤字について伺う。

2 給食費無償、一部



新文化発信拠点施設建設予定地(久茂地地区)

負担について那覇市はどう考えているか伺う。

3 認可外保育園の児童数について伺う。

□市長・関係部長

1 管理運営費について年間の支出と収入の差額が約3.9億円の見込み。文化投資額として福祉事業等と同様に本市が負担すべき必要な費用と認識することから、非常に困難であると考えている。

3 市内の認可外保育園施設児童数は平成29年4月現在で2525人。

那覇市給付型奨学金制度及び民泊新法について

維新・無所属の会

當間安則



1 那覇市給付型奨学金制度について伺う。

2 無許可、違法民泊に対する課題と対策について伺う。

□市長・関係部長

1 学業の成績が優秀で経済的な理由で進学が困難な学生に対し入学金及び授業料を全額

第一牧志公設市場再整備での地域住民との対話について

無所属の会
中村圭介



にぎわい広場へ第一牧志公設市場の仮設市場の建設が予定されているが、周辺住民との対話が不足しているという不安の声がある。意見交換には、ぜひ

内、外部等に協力を仰ぐなどして目的に合致した会になるように考えてほしい。情報提供対話を尽くしての整備をしてほしい。

□関係部長

工事期間中のみならず仮設市場供用開始後の周辺地域との調整も必要と考えるので、関連する部署との連携をさらに深め、ご指摘の部分でもできるだけ改善していきたい。



第一牧志公設市場仮設市場完成予定パース

柱となる平和事業の構築を

無所属の会
前泊美紀



戦後80周年を迎える同計画期間に、どのようなものが那覇らしい平和なのか、戦争体験者の声を踏まえながら、本市において柱となる平和事業について考え、鋭意取り組んでいきたい。

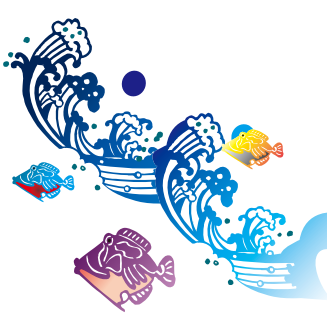
□関係部長

平成30年度から10年間を期間とする第5次那覇市総合計画における平和施策のあり方については、歴史の継承等に加えて、国際社会で子ども達が平和を語るような未来志向の事業や、市の平和施策の柱となる事業の構築が必要になると考える。

市の見解を問う。



恒久平和のモニュメント「なぐやけ」(若狭海浜公園内)



2名増員した。トラブル防止など市独自の条例制定に向け取り組む。

議会傍聴の方の本庁駐車場料金については、1時間を超える分は割引券を発行いたします。

議会事務局(4階)の受付に、申し出て下さい。





災害弱者の支援体制及び通級指導教室について



大城幼子 (公明党)

1 平成30年度新規事業に「避難行動要支援者対策事業」があるが、モデル地区の単位について伺う。また、モデル地区設定の時期を含め本事業のスケジュールはどのようなになっているか。

2 通級指導教室について那覇市内の中学校への設置状況を伺う。

関係部長

1 モデル地区の単位

市制100周年に向けて市民参加で資料収集を



中村圭介 (無所属の会)

1 のうれんプラザ隣接地に観光バスの待機場、乗降場を整備することについて見解を伺う。

2 市制100周年に向け広く市民から那覇市の写真を集め、市民共有の財産として気軽に活用できるようにしてはどうか。見解を伺う。

関係部長

1 のうれんプラザに隣接する国有地は貸



下地敏男 (二ライ)

犬猫の糞尿等被害、自動運転バスの導入

1 動物愛護行政について、本市における犬猫の糞尿等による環境被害の現状と対策を伺う。

2 自動運転バスの導入は、市民の暮らし、交通アクセスの利便性、それを高めるゆいレーや建設予定の新しい芸術発信拠点施設への効果的な利用等、そのメリットは非常に大きい。見解を伺う。



我如古一郎 (日本共産党)

骨髄移植ドナー支援制度の創設を高く評価する

1 一人でも多くのドナーを確保することに寄与する本制度を高く評価する。全国でのドナー支援制度実施状況と内容を伺う。

2 真地小学校の通学路でもある、市道真地7号の路面滑り止め舗装の改修について伺う。

関係部長

1 全国で322市区町村が助成を行っ

関係部長

1 犬猫の苦情件数は、平成27年度が927件、28年度が946件である。主な苦情内容は、猫は糞尿による被害、犬はほえ声となっている。ペットを飼養する場合は、終生愛情と責任を持って飼うことに努めるよう、さまざまな機会を通じて周知啓発を行っていく。

2 国や関係機関と連携して、バス自動運転の導入に向けた取り組みに協力したい。

新BOP事業について



多和田栄子 (二ライ)

1 新BOP事業とは、放課後子ども教室と放課後児童クラブを合わせたものである。以下伺う。

① 本市における放課後子ども教室、放課後児童クラブの設置状況
② 放課後児童クラブの整備状況
2 石嶺町四丁目の雨水調整池整備事業の進捗状況について伺う。

関係部長

1 ①平成29年度では放課後子ども教室が38から44教室へ、放課後児童クラブは72から81クラブへ増加している。
② 小学校敷地内への専用施設整備として、学校施設の建て替えに合わせて進めている。
2 物件補償、用地取得は、平成30年度には終える見込みである。土地の評価については、不動産鑑定士に依頼し、街路条件に合わせ評価額を決定している。平成32年度には工事完了を目指している。

統合医療、無料のお悔み広告の提供等を伺う



大山孝夫 (自民党)

1 統合医療について那覇市の今後の展開を伺う。
2 福岡県では、本人の意向に従い報道等にお悔みや広告を無料で掲載してもらうシステムがある。貧困家庭にそういったサービスを考えなければならぬ。市のお悔みや情報提供について伺う。

3 防災危機管理課の地域防災マネージャー制度の活用を伺う。

関係部長

1 統合医療が地域とのかかわりや健康長寿に果たす役割などについて、引き続き国の動向や先進自治体の事例など情報把握に努め検討したい。
2 議員ご指摘の部分も含め調査研究したい。
3 防災危機管理課長が資格を有しながら、常日ごろ仕事をしながら、実災害発生時は市長直属の危機管理監として職務に当たる構図を想定している。

新規・避難行動要支援者対策事業



西中間久枝 (日本共産党)

1 新規・避難行動要支援者対策事業について

2 軽度知的障がい者への支援(女性相談・特別支援学校との連携)
3 首里大中町内細部街路の整備について
4 寒川緑地の整備

関係部長

1 地域づくりを進める。
2 相談窓口の障がい福祉課や保護管理課、なは女性相談センターで連携し対応している。療育環境の整備や学校卒業後の就労等は、行政と教育の連携が重要である。
3 地元自治会との意見交換や地域住民の方々のアンケート調査をもとに、都市計画変更の素案を作成したい。
4 公園利用者等の意見を踏まえながら、次年度に東屋周りの不陸の対策等を講じたい。

「御茶屋御殿」跡地の一部を国文化財登録へ



野原嘉孝 (公明党)

1 教会側が復元期成会に承諾の意思を表明している御茶屋御殿跡地の一部を国文化財登録することについて、申請手続きに着手していただきたい。

関係部長

1 地主(教会側)が理解した上での同意であれば(国文化財登録の)申請についてはやってみよう。
2 泊漁港は漁港漁場整備法に規定される第二種漁港で県の管理となっている。
本市としても水産業を振興する立場であり、提案のチーム設置等については、生産者の意向も確認しながら対応等を考えていきたい。

6月定例会は6月1日(金)に開会予定です。

なは市議会だよりに関するお問い合わせは議会事務局調査法制課まで TEL 8622・8194



防災用ドローンの導入、地域包括支援センターの増設



大浜安史 (公明党)

1 防災対策として無人航空機ドローンの導入について伺う。
2 高齢者がより身近な地域で医療及び介護などのサービスを受けられる地域包括支援センターについて、12カ所から18カ所に増設する取り組みを伺う。

関係部長

1 消防局では、平成31年4月運用開始予定の高機能消防指令シ

医療的ケア児に対する対応



喜舎場盛三 (公明党)

① 小中学校での医療的ケアを必要とする児童生徒の状況を伺う。
② 県内で学校に看護師を配置している市町村はどのくらいあるか。
③ 本市も文科省のインクルーシブ教育システム推進事業を使って看護師配置できないか。

関係部長

① 本市小中学校における医療的ケアが必要な児童生徒は3人。

子育て支援の充実と緑ヶ丘公園集会所の設置について



前田千尋 (日本共産党)

1 中学校入学準備金の増額と入学前支給を求めている。
2 017年度の対象

人数と効果を伺う。
2 子や家庭の悩みを解決するために子ども寄添支援員(スクールソーシャルワーカー)を全学校に配置すべきである。
3 緑ヶ丘公園集会所の設置は、久茂地地域コミュニティと児童の健全な育成を支援するために望まれている。

市長・関係部長

1 第一牧志公設市場仮設市場の課題とその対策について伺う。
2 軽度知的障がい者支援の取り組みについて伺う。
3 旧田原市営住宅跡地利用について伺う。



當間安則 (維新・無所属の会)

1 工事車両や騒音、粉じん等の影響や100を超える事業者のスムーズな引越、にぎわい

関係部長

1 工事車両や騒音、粉じん等の影響や100を超える事業者のスムーズな引越、にぎわい

子どもたちのむし歯対策について



平良識子 (二ライ)

① 沖縄県は子どもたちのむし歯率が全国ワーストである。那覇市の子どもたちのむし歯の現状について伺う。
② 歯科口腔保健条例(仮称)の制定について

関係部長

① 沖縄県は子どもたちのむし歯率が全国ワーストである。那覇市の子どもたちのむし歯の現状について伺う。
② 歯科口腔保健条例(仮称)の制定について

1 就学援助認定を受けている小学6年生775人へ3月に支給金額も増額し、保護者の負担軽減と子どもが学校生活を安心して楽しくスタートできる。
2 中学校区に配置し、全ての小中学校の児童生徒の支援に関わる。
3 開所日は7月8日のなはの日。地域団体と愛称を「久茂地にじい館」と選定した。

介護予防・日常生活支援総合事業など



宮平のり子 (二ライ)

1 介護予防・日常生活支援総合事業の概要について伺う。
2 首里赤平町の虎瀬公園にある佐藤惣之助の詩歌碑について、元々存在していた首里城公園へ移設を求める陳情対応について、県との協議の進捗を伺う。

関係部長

1 平成29年4月から開始された介護予防・日常生活支援総合事業

首里城公園の円鑑池の水の汚れ、市道鳥堀12号



上里直司 (なはの翼 f協働)

1 首里城公園を訪れる多くの観光客が円鑑池の水の汚れをどう感じるか懸念する。池の水底の土砂を取り除く浚渫の予定を伺う。
2 市道鳥堀12号が開通したが、今後の安全対策について伺う。

関係部長

1 池の水底の土砂を取り除く浚渫などの本

那覇市民の健康づくり、道路行政について



吉嶺努 (自民党)

1 健康づくりポイント制度について伺う。
① 参加者数
② 応募の目標値
③ 特定健診実施率目標と実施率を比較して、その差は何が影響していると考えているか。
3 道路行政について、なはバリアフリー情報マップのホームページが閉鎖されている。Wheelogというバリアフリーマップ

関係部長

1 健康づくりポイント制度について伺う。
① 参加者数
② 応募の目標値
③ 特定健診実施率目標と実施率を比較して、その差は何が影響していると考えているか。
3 道路行政について、なはバリアフリー情報マップのホームページが閉鎖されている。Wheelogというバリアフリーマップ

那覇・福友好都市交流シンボルづくり整備工事について



久高友弘 (自民党)

① 龍柱のひびを調査したか。対策を伺う。
② 龍柱は福建省のケンレイ石材から6624万4400円で仕入れたことになっていて、輸入許可通知書では貿易取引価格が合計3602万7042円となっている。輸送費、税金、保険料を差し引くと、龍柱の値段は大体2600万円になる。松達が請負金額8190万円から2600万円を引いた5690万円を取って

関係部長

① ひびのような小さな線を確認した。経過観察し必要に応じ非破壊試験などの調査を検討したい。
② 税関に確認したが、根拠資料が確認できなかった。下請け通知書記載の石像の購入価格との差額について、理由は把握していない。



子ども・若者行政について



小波津潮 (無所属)

第5次那覇市総合計画では主に自治会、企業、事業所等、ボランティア団体、市民との共同企画のまちづくりを目指しているが、地域の青年会の役割を本市はどう担ってもらいたいか。

また、実態はどうなっているのか伺う。

関係部長

平成29年度において

行政ワンストップサービスについて



新垣淑豊 (自民党)

遺族の行政手続きのワンストップサービスについて伺う。

関係部長

死亡届の9割が葬業者の代理手続きのため、諸手続きの説明が直接遺族にできない現状にある。現在、ハイサイ市民課では、直接ご遺族が来所した際、高齢者や手続きが困難な方には状況を聞き取り丁寧に関係課へ繋いでいる。

市長の経済振興策、えんぴつ公園遊具のリニューアル等を問う



大嶺亮一 (自民党)

1 市内事業者が市外へ移転をせず、継続して頑張れる対策を伺う。
2 地元でえんぴつ

て、地域青年会の実態調査を行ったところ、回答のあった112の自治会のうち19の自治会に青年会があることを把握している。

青年会の活動内容を見ると、「那覇大綱挽きの旗頭」や「琉球王朝まつり首里」などを始め、地域の盆踊りや敬老会のサポートなど様々な行事に参加していることから、地域の活性化や協働によるまちづくりの重要な役割を果たしているものと認識している。

亡くなった方がどういう課に関係する手続きが必要なのか今の状況ではわからないため、いろんな部署の手続きが一カ所でわかる形のシステム構築が必要になってくる。

システム構築や連携はすぐに取り組めない課題もあるが調査研究していく。

市民サービス向上、市民負担、事務方の業務軽減になるので、効率化も含めISOで関係各課と調整し、まとめていきたい。

公園と親しまれている長田北公園の滑り台遊具が半年以上使用禁止になっている。今後のリニューアル時期を伺う。

3 新市民会館について、パレット市民劇場など周辺施設稼働率への影響をシミュレーションしたか伺う。

1 企業立地促進奨励助成事業、県外・海外

図書館への「赤ちゃんタイム」導入、教習場でウィンタースポーツを見解を伺う。



坂井浩一 (なはの翼 f協働)

1 乳幼児を抱えるパパやママが、安心して気兼ねなく図書館を利用できるような「赤ちゃんタイム」の導入を提案する。見解を伺う。
2 アイスホッケーやアイススケート等、ウィンタースポーツを通じた子どもたちの体験学習の機会を、選択肢の一つとして小中学校で取り入れてほしいとの市民の声がある。

1 「赤ちゃんタイム」を設けている宜野湾市民図書館など他自治体での取り組み状況、効果を情報収集して、導入に向けて取り組んでいきたい。

生活保護のしおりに憲法第25条の明記を



上原安夫 (日本共産党)

1 生活保護のしおりに憲法第25条を明記することを求める。
2 民生委員の充足状況を問う。
3 真和志支所の建て

向け販路拡大支援事業、新商品開発事業など、今後も継続する。事業者にとつて那覇市が魅力ある活動場所となり、市内で継続してビジネス展開できるように、関係機関と連携し支援に取り組みたい。

2 次年度に沖繩振興公共投資交付金を活用して撤去、更新を行う。

3 シミュレーションはしていない。

見解を伺う。

関係部長

1 「赤ちゃんタイム」を設けている宜野湾市民図書館など他自治体での取り組み状況、効果を情報収集して、導入に向けて取り組んでいきたい。

2 子ども達の体験活動の選択肢を広げる事は大切であると考えている。教育委員会としては、学校とPTAが連携を図りながら、充実したウィンタースポーツの体験が図れるよう支援していきたい。

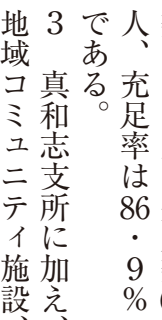
替え・複合化を問う。
4 教職員の長時間労働の改善と小人数学級への取り組みを問う。

関係部長

1 生活保護のしおりに、制度の根拠を明確にするためにも、憲法第25条を明記する。
2 民生委員は、定数

459人のうち、現任数399人で欠員数60人、充足率は86.9%である。
3 真和志支所に加え、地域コミュニティ施設、中ホール機能、中央公民館、図書館について

犯罪被害者に寄り添った市政運営を



前泊美紀 (無所属の会)

は、空き室への優先入居に取り組んでいる。本市の現状と課題を問う。

1 本市では、平成17年度の市営住宅入居者募集において、DV被害者世帯について、一般入居者よりも入居倍率を高くする優先世帯として対応している。

それ以外の犯罪被害者世帯については、他都市の事例等を参考にしながら、早急に調査研究を進めていきたいと考える。

関係部長

本市では、平成17年度の市営住宅入居者募集において、DV被害者世帯について、一般入居者よりも入居倍率を高くする優先世帯として対応している。

他都市の事例では、大阪府では、被害直後の一時使用、大阪市で

魅力的なうみ業のまちの実現に向けて



宮里昇 (日本共産党)

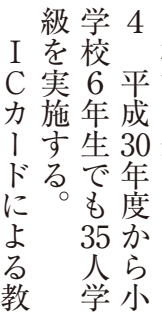
1 2018年度予算での水産業振興施策の特徴について伺う。
2 放置船は前倒しで処理出来ないか伺う。
3 若狭小児児童クラブ舎について伺う。

鳥ネットを設置する漁協等に対し、費用の一部を補助する。
泊漁港内にある老朽化した冷凍冷蔵施設の建て替え要望を受け、整備について、その一部を補助する。
当該事業は平成30年度、施設本体工事に着手する。

関係部長

1 泊漁市場の衛生面改善に向け、セリ場床面の補修工事及び鳥獣等の侵入を防止する防

那覇トリアスロン開催、児童相談所設置等を問う



仲松寛 (無所属)

と、市長の大会会長就任を承諾した。開催に向け調整を進めている。

2 県が、J1対応スタジアムを整備し、フットボール全般、イベント等の多目的利用を図る旨を示している。

3 設置には、財政負担、児童福祉士や臨床心理士等の人材確保など課題がある。国の動向を注視し慎重に調査研究、検討したい。

関係部長

1 関係者から、うみそら公園を発着点としてコース案提示があり、実行委員会等への参画

1 現在の防災計画に1日平均3万人前後の観光客数は含まれているのか、また、地域の防災力を上げるための本市の取り組みについて伺う。
2 フリーWi-Fi事業について、本市としての取り組み、また、本事業を観光にどうかすかについて伺う。

関係部長

1 現在、災害時に住居が失われる等の要避難者数は38146人である

1 現在、災害時に住居が失われる等の要避難者数は38146人である

観光行政について



翁長雄治 (ニライ)

が、これは観光客数は含まれていない。今後、新しく見直しを図っていききたい。避難所については、地域住民が主体となり運営しなくてはならない。また、防災リーダーは一人ではできないため、多くのリーダーを育成していく必要がある。

2 現在、市内約300カ所に設置している。その中で特に外国人客について、言語別で動向を把握している。

1 現在、防災計画に1日平均3万人前後の観光客数は含まれているのか、また、地域の防災力を上げるための本市の取り組みについて伺う。

関係部長

1 現在、防災計画に1日平均3万人前後の観光客数は含まれているのか、また、地域の防災力を上げるための本市の取り組みについて伺う。

2 フリーWi-Fi事業について、本市としての取り組み、また、本事業を観光にどうかすかについて伺う。

1 現在、災害時に住居が失われる等の要避難者数は38146人である

1 現在、災害時に住居が失われる等の要避難者数は38146人である



協働によるまちづくりへの学校の関わり



上原 仙子 (なはの翼 f協働)

教育委員会は、校長など学校現場に対して、まちづくりへの学校の関わりについて理解を深める取り組みを行っているか伺う。

関係部長

校長連絡協議会において、学校のオープン化などについて市長講話を行い、協働によるまちづくり及びまちづくり協議会への協力について説明した。

年金、乗合タクシーについて



粟國 彰 (自民党)

1 昨年8月1日から年金受給するのに必要な期間が25年から10年に短縮された。申請をしていない方への案内など取り組みを伺う。
2 真和志地域乗り合いタクシーは、本年1月9日に本格運行している。市民の中には乗り合いタクシーの運行がわからない人が多いと聞いている。

港湾整備及びスポーツ啓発について



永山 盛太郎 (二ライ)

1 那覇港新港ふ頭小船たまり場付近の公衆トイレが少ない。那覇市から那覇港管

また、教頭連絡会において、小学校区コミュニティ推進基本方針、協働によるまちづくりについての講話の中で、将来地域の一員として地域を支えていくことになる子供たちを地域とともに育成するため、関係機関と連携した取り組みが重要であることを説明した。今後は教職員の研修会の研修項目の一つとして、協働によるまちづくりについて教職員への理解を深めていきたい。

また、教頭連絡会において、小学校区コミュニティ推進基本方針、協働によるまちづくりについての講話の中で、将来地域の一員として地域を支えていくことになる子供たちを地域とともに育成するため、関係機関と連携した取り組みが重要であることを説明した。今後は教職員の研修会の研修項目の一つとして、協働によるまちづくりについて教職員への理解を深めていきたい。

関係部長

1 那覇港管理組合によると、補修のため一部を使用禁止としている。現在のところ、新たにトイレを整備する計画はないが、3月中には現在閉まっている東緑地内のトイレが全面利用できるようなことになることである。
2 ひやみかちなはウォークなどのイベント等を開催し、その他にもスポーツ推進員による地域スポーツ教室や、市民のスポーツ活動場所を提供する学校体育施設開放事業等を行っている。

老人福祉センターについて



糸数 昌洋 (公明党)

1 施設老朽化の状況と修繕の対応について
2 指定管理者の行った修繕箇所の把握はできているか。
3 本市の修繕予算の状況について。

関係部長

1 末吉老人福祉センターの築43年をはじめ、壺川・小禄・識名の各センター全てが築30年を超え、老朽化によるコンクリートの剥離ひ

児童への支援と、潜在的ニーズを含めた拡充をすべき



奥間 亮 (自民党)

1 児童クラブ、学童に対する支援を充実させ、クラブの皆様のご意見ご要望に応え、連携を密にし、潜在的ニーズも含め待機児童の

画はないが、3月中には現在閉まっている東緑地内のトイレが全面利用できるようなことになることである。
2 ひやみかちなはウォークなどのイベント等を開催し、その他にもスポーツ推進員による地域スポーツ教室や、市民のスポーツ活動場所を提供する学校体育施設開放事業等を行っている。

画はないが、3月中には現在閉まっている東緑地内のトイレが全面利用できるようなことになることである。
2 ひやみかちなはウォークなどのイベント等を開催し、その他にもスポーツ推進員による地域スポーツ教室や、市民のスポーツ活動場所を提供する学校体育施設開放事業等を行っている。

画はないが、3月中には現在閉まっている東緑地内のトイレが全面利用できるようなことになることである。
2 ひやみかちなはウォークなどのイベント等を開催し、その他にもスポーツ推進員による地域スポーツ教室や、市民のスポーツ活動場所を提供する学校体育施設開放事業等を行っている。

関係部長

1 図書の本の福袋への取り組みを伺う。
2 図書館の情報提供として、例えば子育てコーナーがあれば、子育て部門と連携して紹介いただけないか。
3 動物も家族の一員として、死別した場合、行政が関わっていく方法は無いのか。

関係部長

1 4月の子どもの読書週間に首里図書館で

新天地市場本通り整備等について

1 新天地市場本通り付近に公衆トイレがなく非常に困っている状況にある。設置について伺う。
2 繁多川(真和志郵便局前)には、横断歩道が近くにないため要望がある。対処を伺う。
3 那覇市営住宅の入居者募集の現状を伺う。

関係部長

1 通り会から水上市舗2階の使えなくなっているトイレを再整備し公衆用トイレへ活用したいとの相談、提案があり、配管経路や設置費用等を明確にする必要があるため検討を行っている。
2 所管する那覇警察署へ要望していきたい。
3 今年1月9日から24日にかけて実施し、1694世帯の申し込みがあった。障がい者・高齢者・

ポード設置を検討すべき。

ポード設置を検討すべき。

1 放課後児童クラブの拡充に向けては関係者と連携を図る事が重要と考えており引き続き取り組みを進めていく。

関係部長

1 図書の本の福袋への取り組みを伺う。
2 図書館の情報提供として、例えば子育てコーナーがあれば、子育て部門と連携して紹介いただけないか。
3 動物も家族の一員として、死別した場合、行政が関わっていく方法は無いのか。

関係部長

1 4月の子どもの読書週間に首里図書館で

新天地市場本通り整備等について

1 新天地市場本通り付近に公衆トイレがなく非常に困っている状況にある。設置について伺う。
2 繁多川(真和志郵便局前)には、横断歩道が近くにないため要望がある。対処を伺う。
3 那覇市営住宅の入居者募集の現状を伺う。

関係部長

1 通り会から水上市舗2階の使えなくなっているトイレを再整備し公衆用トイレへ活用したいとの相談、提案があり、配管経路や設置費用等を明確にする必要があるため検討を行っている。
2 所管する那覇警察署へ要望していきたい。
3 今年1月9日から24日にかけて実施し、1694世帯の申し込みがあった。障がい者・高齢者・

2 施設のスペース等の状況を確認しながら設置について検討していきたい。

2 施設のスペース等の状況を確認しながら設置について検討していきたい。

3 今後調査の上、設置可能な施設については検討していきたい。

関係部長

1 介護サービスを充実させるための地域ケア会議について伺う。
2 新規事業・大嶺地区の船揚場建設を伺う。
3 小禄支所建て替えのスケジュールを伺う。
4 消防庁整備を伺う。

関係部長

1 高齢者への適切な支援を検討し、地域で安心して過ごせるための仕組みを創る。
2 016年度は事例

障がい者・高齢者が利用しやすいホームページを

1 自治体や関連のホームページについて、高齢者や障がい者を含む誰もが利用しやすいものとなるよう情報バリアフリー環境の整備、ユニバーサルデザインへの改善が求められている。本市の方針の策定と公開について伺う。
2 石嶺中学校と城北小学校の体育館の雨漏りの早期改修を求めめる。
3 市道・石嶺線の久場川町・公文塾付近で雨水が溜まり、通行する車両によって歩道側に雨水が飛び散り、歩

関係部長

1 平成30年度にホームページの再構築を行うことから、本市のアクセシビリティ方針を策定し、リニューアルと同時に公開する予定である。
2 工法を検討し、防水工事を実施したい。
3 速やかに対策を講じ、改善したい。

生活保護・多子・ひとり親世帯・DV被害者等については優先入居を実施した。

生活保護・多子・ひとり親世帯・DV被害者等については優先入居を実施した。

1 介護サービスを充実させるための地域ケア会議について伺う。
2 新規事業・大嶺地区の船揚場建設を伺う。
3 小禄支所建て替えのスケジュールを伺う。
4 消防庁整備を伺う。

関係部長

1 介護サービスを充実させるための地域ケア会議について伺う。
2 新規事業・大嶺地区の船揚場建設を伺う。
3 小禄支所建て替えのスケジュールを伺う。
4 消防庁整備を伺う。

関係部長

1 高齢者への適切な支援を検討し、地域で安心して過ごせるための仕組みを創る。
2 016年度は事例

障がい者・高齢者が利用しやすいホームページを

1 自治体や関連のホームページについて、高齢者や障がい者を含む誰もが利用しやすいものとなるよう情報バリアフリー環境の整備、ユニバーサルデザインへの改善が求められている。本市の方針の策定と公開について伺う。
2 石嶺中学校と城北小学校の体育館の雨漏りの早期改修を求めめる。
3 市道・石嶺線の久場川町・公文塾付近で雨水が溜まり、通行する車両によって歩道側に雨水が飛び散り、歩

関係部長

1 平成30年度にホームページの再構築を行うことから、本市のアクセシビリティ方針を策定し、リニューアルと同時に公開する予定である。
2 工法を検討し、防水工事を実施したい。
3 速やかに対策を講じ、改善したい。



◇2月定例会で可決。

同意された主な議案

- ▽那覇市頑張るマチグワー支援基金条例の一部を改正する条例制定について
- ▽那覇市職員の自己啓発等休業及び修学部分休業に関する条例制定について
- ▽那覇市介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例制定について
- ▽那覇市指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ▽那覇市緑ヶ丘公園集会所条例制定について
- ▽平成30年度那覇市一般会計予算ほか予算9件
- ▽平成29年度那覇市一般会計補正予算(第6号)ほか補正予算7件
- ▽那覇市若狭公民館の指定管理者の指定について
- ▽那覇市繁多川公民館の指定管理者の指定について

※すべての議決結果については

那覇市議会ホームページで確認できます。

予算決算常任委員会(全体会)で新文化芸術発信拠点施設整備事業(新市民会館関連事業)の予算案を可決

平成30年度一般会計歳入歳出予算は、予算決算常任委員会(全体会)で新文化芸術発信拠点施設整備事業の関連予算について、各委員の賛否が分かれ、関連予算を削減する修正案が出されました。

提案者の理由として、建設場所、財源のあり方、将来的な財政負担等について市民の理解が十分得られていないので、一旦立ち止まって、市民の意見もしっかり聞きながらこの事業を進めるべきである、などの説明がありました。

それに対して委員から、建設場所の見直しを行うとなれば、新たに基本構想からつくり直すことになり、市民、県民が文化芸術、伝統文化などに触れる機会がさらに遠のき、また、一括交付金が活用できないとなると、那覇市にとって大きな財政負担が発生することにもなるので修正案に反対するとの討論がありました。

採決の結果、修正案は賛成少数により否決され、原案は賛成多数により可決されました。

予算決算常任委員会

平成30年度の一般会計予算について、各分科会において詳細な審査を実施しました。その後、3月15日に開催した全体会で各分科会委員長の審査報告を聴取して、総括質疑を行い、採決を行った結果、賛成多数により、原案のとおり可決しました。

総務分科会

市民意識調査実施事業について、委員から、正確な意見を反映するために、回収率を上げる取り組みを委託業者に対して求めているのか、と質疑がありました。当局から、本市の広報活動において回収率を上げる取り組みを検討する必要がある、と答弁がありました。

別の委員から、選挙権年齢が18歳に引き下げられたが、これを踏まえて、若い人からの意見を取り上げるため、調査対象を18歳以上にする考えはないか、と質疑がありました。当局から、公職選挙法が改正され選挙権が18歳以上になった状況も考慮して、今後は、若者の意見をどう反映していくかとの観点から検討課題とする、と答弁がありました。

建設分科会

CO₂排出削減促進事業に関する、国際通りの共同集配システム構築について質疑があり、当局から、国際通りの慢性的な渋滞は、荷さばき車両の駐停車により、後続車に影響を与えていることが大きな要因である。国際通りに入る荷さばき車両を共同集配システムで抑制し、国際通りの渋滞を緩和することでCO₂の削減が期待できることを店舗の方々に配送業者へ啓発する事業である、と答弁がありました。

また、現時点での共同集配システムの構想について質疑があり、当局から、1カ所に荷物を集め、特定の業者が国際通りの各店舗に配送していく構想である、との答弁がありました。

教育福祉分科会

給付型奨学金事業について、委員から、大学以外の専修学校などにも門戸を開いたことにより、高校生からも大いに期待されている評価の高い事業であるが、選定される10人以内の選考方法について質疑がありました。当局から、成績の目安は、推薦入学等の基準である全科目の平均評定が4.3以上で、学校長の推薦状を基に個々の面接を行い、採点する方法を検討している、と答弁がありました。

同委員から、点数は公開されるべきと考えられるが見解を伺う、と質疑があり、当局から、個人の成績に関しては、本人の開示請求があれば開示したいと考えている、と答弁がありました。

厚生経済分科会

新文化芸術発信拠点施設整備事業について、委員から、当該事業については見直すべきとの意見もあり、再度検討する考えはあるのか、と質疑がありました。

当局から、当該事業の進捗については現在7段階中6段階にあり、平成30年度は最終段階の工事着工に入る予定である。工事を見直すことにより状況が好転する要素を見出すことは困難であり、当該事業については今後も推進していく考えである。その中で市民からの疑問や問い合わせについては、今後も丁寧に対応していく、と答弁がありました。

その後、議員間討議では、当該事業の一括交付金のあり方を巡り、さまざまな意見が交わされました。

2月定例会常任委員会の審査概要

総務常任委員会

那覇市職員の自己啓発等及び修学部分休業に関する条例制定について、当局から、「第5次那覇市総合計画」の施策として「社会の変化に対応できる職員の育成と組織づくり」を掲げており、課題解決能力と意欲ある職員の育成が目的である、と説明がありました。

委員から、休業期間中の人事評価について質疑があり、当局から、公務に復帰した後、奉仕活動や大学等で履修した内容を業務に活かす実績が人事評価の対象になると答弁がありました。

教育福祉常任委員会

那覇市緑ヶ丘公園集会所条例制定について、当局から、地域のコミュニティ活動を支援し、児童の健全な育成を図ることを目的として、那覇市緑ヶ丘公園集会所を設置する。久茂地児童館を廃止して、緑ヶ丘公園集会所に同児童館の機能を引き継ぐ規定である、と説明がありました。

委員からは、地域の要望を取り入れた施設であり、今後のファシリテイマネジメントや公共施設の管理のあり方、地域政策のモデルになるのではないかと意見がありました。

建設常任委員会

大名市営住宅の第3期建替工事請負契約について、当局から、地上12階建て、79戸の規模である、と説明がありました。

これに対し委員から、応札者と落札率について質疑があり、当局から、応札者は3者で落札率は95.7%だった、と答弁がありました。

委員から、建て替え工事の完了時期について質疑があり、当局から、第3期工事は、平成31年度に完了する。全体では第4期までであり、平成34年度に完了予定である、と答弁がありました。

厚生経済常任委員会

那覇市頑張るマチグワー支援基金条例の一部を改正する条例制定について、当局から、中心商店街以外の地域の商店街等に対しても支援を広げる必要があることから、全市域の商店街等を支援対象にする、と説明がありました。

委員から、支援対象を全市域に拡大することで得られる効果について質疑がありました。

当局から、それぞれの商店街を活性化し連携体制を構築することで、市域全体の商店街の底上げを図っていく、と答弁がありました。

行政視察調査の報告

総務常任委員会

救急隊体制の取り組み等について 視察調査

総務常任委員会は、去る1月15日から19日までの日程で、広島県呉市、京都市、福井県鯖江市、静岡県焼津市、神奈川県秦野市を訪問し、視察調査を実施しました。

呉市ではデジタルブック化された市の広報紙の取り組み、京都市では救急隊体制の効率的な取り組み、鯖江市ではオープンデータ・ビックデータの活用、焼津市ではドローンを導入した防災対策、秦野市では行政評価の取り組みについて調査しました。

建設常任委員会

自動運転技術の実証実験の現状と今後の展望等について視察調査

建設常任委員会は、去る1月29日から2月1日までの日程で、愛知県議会、岐阜市、宇都宮市、柏市を訪問し、視察調査を実施しました。

愛知県議会では全国に先駆けて県が主導して行っている自動運転技術の実証実験の現状と今後の展望、岐阜市では市街地再開発事業における土地の高度利用の方法、範囲、賑わい創出に向けた取り組み、宇都宮市では市内を快適に移動できる手段としてのLRT事業の現状及び公共交通の充実と利用促進、柏市ではオンデマンド交通（相乗りタクシー）の現状と取り組みについて調査しました。

教育福祉常任委員会

学力向上の取り組み等について 視察調査

教育福祉常任委員会は、去る1月23日から26日までの日程で、東京都世田谷区、富山市、金沢市を訪問し、視察調査を実施しました。

世田谷区ではBOPと児童クラブを統合した「新BOP事業の取り組み」、富山市では子育て支援の拠点施設として、こども図書館と子育て支援センターを併せた複合施設「とやまこどもプラザ」の視察、金沢市では中核市として横須賀市とならんで、全国初で開設した「金沢市児童相談所」の視察及び「学力向上の取り組み」について調査しました。

厚生経済常任委員会

京都文化芸術都市創生条例等について視察調査

厚生経済常任委員会は、去る1月15日から18日までの日程で、東大阪市、大阪市、高槻市、京都市、大府市を訪問し、視察調査を実施しました。

東大阪市では動物指導センターの取り組み、大阪市では違法民泊対策及び特区民泊推進の取り組み、高槻市では埋蔵文化財調査センターの取り組み、京都市では東アジア文化都市2017京都の開催に向けた取り組み及び京都文化芸術都市創生条例、大府市では市民の健康づくりへの取り組みについて調査しました。

平成29年度那覇市議会議員研修会を開催

去る2月9日に岐阜県可児市議会長の川上文浩氏を講師にお招きし、「可児市議会の4つの政策サイクル」と題して議員研修会を開催しました。



- ① 議会の中長期ビジョンを作成し、議長職をはじめ各委員会で引き継いでいく議会運営サイクル
- ② 委員会における議員間討議で全会一致の提言をまとめ、次年度予算編成に反映されるよう市長に提言する予算決算審査サイクル
- ③ 聴取した市民意見を委員会の所管事務調査に加え、市政に反映していく市民意見を聴取し反映するサイクル
- ④ 高校生議会、ママさん議会、少人数のグループ形式による議会報告会などを開催する若い世代との交流サイクル

以上の取り組みが、いじめ防止条例や空き家条例等の具体的な成果を上げているプロセスを学びました。

また、それぞれの市町村の規模に応じた議会サイクル構築の必要性が説かれ、那覇市の実情に合った議会サイクル構築に向けて、議会全体の認識を高めることができました。

建設常任委員会

旭ヶ丘公園（若狭在）を視察調査

建設常任委員会は、公益財団法人対馬丸記念会から提出された陳情を受け、去る3月23日に、旭ヶ丘公園の視察調査を実施しました。

陳情内容は、同公園内に慰霊碑、顕彰碑が数多く存在して沖繩の文化、歴史、平和が学べる環境にある中、雑木の伐採、各碑の案内板の設置、波の上ビーチの海水浴客や観光客が気軽に散策できるように海岸からの階段を設置するなど、抜本的な整備を要望するものです。



議案(全会一致を除く)に対する議員の賛否一覧(平成30年2月定例会)

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退場 議・・・議長は採決に加わりません

◆那覇市議会議員 条例定数 40 人

議決年月日	議員氏名、等 議案名等	出席者数	表決総数	賛成	反対	議決結果	議員																																							
							議席1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
2月27日	訴えの提起について(固定資産税の過大徴収に関する福岡高裁の支払命令に対する上告案)	40	39	18	21	不同意	ニラ	ニラ	共産	共産	無属	無属	維無	維無	ニラ	ニラ	ニラ	共産	共産	共産	共産	公明	公明	公明	翼	自民	自民	自民	ニラ	ニラ	ニラ	公明	公明	公明	翼	翼	自民	自民	自民	久高友弘						
3月19日	「平成30年度那覇市一般会計予算」に対する修正案	40	30	11	19	否決	永山盛太郎	翁長雄治	奥間綾乃	上原安夫	西中間久枝	仲松圭寛	中村美紀	前泊安則	當間進也	新崎快佐	上原敏男	下地敏男	多和田栄子	小波津朝潮	古堅茂治	湧川朝涉	我如古一郎	前田千尋	宮里盛三	喜舎場盛三	野原嘉孝	大城幼子	上原仙二	大嶺亮二	吉嶺努	新垣淑豊	清水磨男	金城眞徳	平良識子	宮平のり子	翁長俊英	桑江昌洋	糸数安史	大浜直司	上里浩二	坂井孝夫	奥山孝亮	栗國彰		
3月19日	平成30年度那覇市一般会計予算	40	34	25	9	可決	○	○	×	○	○	○	○	退	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

会派名略称 ニラ：ニライ 共産：日本共産党 自民：自民党 公明：公明党 翼：なほの翼f協働 維無：維新・無所属の会 無属：無所属の会 ※会派無所属は表示なし

第11回那覇市議会報告会 および 市民との意見交換会

各会場、駐車スペースには限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力ください。

- 平成30年度当初予算の報告
- 委員会審査報告
 - ・地域の防災力向上について・・・(総務常任委員会)
 - ・公共交通のあり方について・・・(建設常任委員会)
 - ・介護行政、学校トイレ洋式化、給付型奨学金制度について・・・(教育福祉常任委員会)
 - ・民泊について・・・(厚生経済常任委員会)
- 意見交換会

5/9
18:00-19:30
水曜日

会場：那覇市役所 1階 市民会議室



会場：首里支所 会議室

5/9
19:00-20:30
水曜日



5/10
18:30-20:00
木曜日

会場：沖縄大学 3号館101教室



会場：鏡水ふれあい会館

5/10
19:00-20:30
木曜日



手話通訳をご希望の方は、4月24日(火)までに那覇市議会事務局へご連絡ください。

お問い合わせ：那覇市議会事務局 Tel 098-862-8194 (調査法制課) / Fax 098-862-8296
サイト：http://www.gikai.city.naha.okinawa.jp/

台湾地震の被災者に 義援金で支援

去る2月に台湾東部で発生した大規模な地震は、花蓮市を中心に、多くの死傷者を出す甚大な被害をもたらしました。

那覇市議会では、被害に遭われた被災者を支援することを目的に、議員40人から義援金20万円が寄せられました。

3月9日に翁長俊英議長が台北駐日経済文化代表処那覇分処(久茂地在)を訪れ、義援金を手交しました。

アメリカ統治下議会議事録 電子化事業 が完了

(本土復帰前の議会議事録を電子化する事業)

このたび、アメリカ統治下議会議事録電子化事業が約5年をかけて完了しました。手書きの会議録の中には状態の悪い文書もあったため、平成29年(2017年)度に一部の原本を修復し、後世へと引き継げるようにしました。

会議録の面白さの一つは、歴史になる前の事が書かれていたり、那覇市役所は昭和40年(1965年)度には、原簿を修復し、後世へと引き継げるようにしました。

牧志公設市場建設決定地を視察(1966.8.4)

編集後記

寒さも和らぎ過ぎました。4月は事務局に異動があり、寂しさもありますが、編集委員と事務局の新たなチームで「市民に手にとりやすい」を目指して頑張ります。

(中村圭介)

編集委員の様子

アメリカ統治下議会議事録 電子化事業完了記者会見

アメリカ統治下当時の手書きの会議録等を前に記者会見を行う翁長議長(4月3日)

年)に現在の場所に建設されましたが、今の与儀公園に建設しようという案もありました。那覇市を「沖縄市」に改称しようという案もありました。A案かB案か、賛成か反対か、様々な事が当時の市議会でも話し合われ、選ばれた方が歴史となり現在の那覇市を形作っていました。当時の議員や役所側がどのような考えを持ち決断したのか、その生の声を知る事ができる会議録は貴重な資料です。

電子化した会議録は文字検索も可能ですが、「瀬長亀次郎」「バスターミナル」等、気になるキーワードで検索してみてください。